

2009年10月28日

東レ株式会社

## 新規開発化合物TRK-170の欧州における臨床試験開始について

東レ株式会社(本社：東京都中央区、社長：榊原 定征、以下「東レ」)はこのたび、炎症性腸疾患への治療効果の発現が期待される開発化合物TRK-170の第1相臨床試験を欧州で開始しました。

炎症性腸疾患は、大腸や小腸などの消化管に炎症が起こり、下痢、血便、腹痛などが続く免疫疾患です。若年者に好発し、炎症の再燃・再発を繰り返して慢性化することが知られています。

現在の治療薬としては、症状の改善・維持をコントロールする目的で、5-アミノサリチル酸製剤、ステロイド、免疫調節剤や生物学的製剤などが使用され、治療の選択肢は広がってきましたが、更なる治療の多様性に対応するため、新たな薬剤の開発が期待されています。

今回東レが第1相臨床試験を開始したTRK-170は、免疫反応を司る白血球に特異的に作用し、疾患の原因となる過剰な免疫反応を抑制する経口剤です。東レが保有する多くの化合物群から見出され、非臨床試験において薬効と安全性が確認されたため臨床試験を開始しました。今後は、日本も含めたグローバルな開発を実施する計画であり、できる限り早期の製品化を目指して研究・開発を進めて参ります。

東レはコーポレート・スローガン“**Innovation by Chemistry**”(化学による革新と創造)のもと、重点4領域の一つであるライフサイエンス分野における先端材料の拡大に取り組んでおり、独自の先端技術を活かした研究・開発により **Innovation** を創出することで、次代の成長エンジンとなる「戦略的育成事業」と位置づけるライフサイエンス事業のさらなる拡大を目指し、社会に貢献して参ります。

### <用語の説明>

#### (1) 炎症性腸疾患

潰瘍性大腸炎とクローン病の総称です。厚生労働省より両疾患ともに難病(特定疾患)に指定されており、その患者数は増加傾向にあります。

以 上